

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-5-1 産業人材の育成
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能 昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	職業能力開発計画の進行管理		
目的	(1) 対象	県、雇用・能力開発機構、職業能力開発協会	
	(2) 意図	職業能力開発審議会を開催し、計画案の策定、進行管理を行うとともに、連絡調整・検討協議を行う。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 職業能力開発施策を推進するため、職業能力開発計画を策定し、計画の進行管理を行う。 委員から計画案について答申を受けるとともに実施状況について意見を受けるため、審議会を開催する。 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	計画実施状況	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	(職業能力開発計画施策の実施件数) / (職業能力開発計画に掲げられた施策数)	目標値	90.00	90.00	100.00	
			実績値	90.00	90.00	100.00	100.00		
			達成率		100.00	105.30	100.00		%
指標名	式・定義	計画実施状況	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	136	175
うち一般財源(千円)	136	175

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度は、職業能力開発審議会を1回開催し、第9次職業能力開発計画の進行管理を行うとともに、事例報告、意見交換を行った。
 ・職業能力開発計画の施策を100%実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

第9次職業能力開発計画は、27年度までに重点的に取り組む事項と展開すべき施策を示したものであり、26年度は100%実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 施策の実施率については、100%であるが、第9次職業能力開発計画各は今年度で修了するので、次期計画の準備を進める必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 職業能力開発計画は、国の職業能力開発基本計画に基づいて行われる職業能力の開発に関する基本となるべき計画であるが、国の次期職業能力基本計画の概要が不明であるため計画作成の準備に入れない。
- ③原因を解消するための「課題」
- 国（厚生労働省）の職業能力基本計画作成の動向を把握すること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

国（厚生労働省）の職業能力基本計画作成の動向について、様々な方法で把握に務め、状況を職業能力開発審議会へも報告し、なるべく早い段階で次期職業能力開発計画の作成に取り組む。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）